

仕事との付き合い

全きて行くのは仕事は大印だ 自分なりの

たりの仕事をまとめてさよならの挨拶をかも

しれずい 中年になつても見つかなかつたり

すると石炭が同様に吹いて来る。だからと知つた

りの仕事が見つかるとはかぎらない

店をほじめたころ近所近所に同業のまじりとは

う店があらたに店がすくいの今と話して

いた そのころ中絶道にさやいし工が有り

そこへうさばらに行つたりするようだが その

うちにそのキヤバレエにつとめてるよりになつ

た その仕事はむいての知^はらるい

私の仕事は人孫のへアをさわり接合をやる

ことだ 唐土もつあつとめていた屋は犬型居

で美奈師が多せいらた 受付かる案内さした

目男茶のお客符のへアを作るだけだつた そ

のたけ甘やかさしてアお客符への記録を

つていなかつた いらつしアいあせし^アりおと

う^カじがいらすけをきちんと言ふるい 最初から

つてアブリつたりつた かりもさしは 転職

夢りたりと毛がいたんでい^くまう、毛をい^はめ

きいニヒだ毛をい^はたし^て強い勉強をい^はう

^{翻部}内の一冊でその教養をい^はつた

り先令の教養だ一年通^りたでもお^らな

ん化^を ~~雑誌~~ 号記の世界だか^らだそれを現実の

パーマの世界へさす^らつ^たら^ば

その時^は先^生に講師^をやら^なか^とい^われ

全国的に元^けだ^いと^りう^り先^生の思^いを具^体

化^すに^なる^たし^てだ、^かり^まう^らん^がく^り

と^りい^う内^容を^いは^れく^りい^はれ^るま^じり

テキストなどはそろそろお講師の巻紙、
次々加える

心算のことか、
とにかく一巻命だつた

自分もあつち講習をして
あつた

宿をもつて十年以上か
かつてやつとさかして

ていつに
はあつた